

倉橋先生の本誌五月號に

於て保姆諸氏と園藝趣味

の記事を拜讀して

在鎌倉 膳 眞 規 子

回顧すれば、今より二十年前の初夏の頃、京阪神三市聯合保育會（現今の關西保育大會の前身）が神戸市に開催された時、倉橋先生の御講演がありました。之れ先生が關西に於ける最初のものでありました。

關西保育者は豫て先生の、幼兒教育の權威者なるを御慕ひ申上、其御高説を新聞に雜誌に拜見して居りましたが、未だ親しく其御講演を拜聽するの機會を得ざりしが、此三市聯合保育會に於て、關西保育者一同が幼兒教育上、最も有益なる御講演に接するを得て、大に覺醒を興へられ、満場の

會員は感喜に滿ちたり。

此時の演題は、幼兒神經系統の擁護に付てと言ひ、之れを先生は最も御熱心に御指導下され、其主要なる意味は、自ら發達する自然を其自然の理に從つて育てて行くと言ふ、幼兒教育の一大原理を、先生は斯く二十年前より、我々に教へられて居ります。爾來此主義により、設備不完全なる在職に在りて、自然的接觸の考案をめぐらし、種々工夫をなし、明き箱又は陶器の役に立たぬ物を以て種を蒔きて、窓園藝を試みたる處其成績よく、發芽發育順調に終に、美しき花開き、幼兒は此の發育の經路を興味深く、漸く自然物に興味を有し日曜日などの散策には、自然物を採集して、幼稚園に持參する様になり、又家庭よりも心がけて、父兄等の、自然物を持ち來り材料は豊富となり、斯の如きは、職員努力一致の結果にして、長き在職の年月も、幼兒と共に楽しく此生活を續けたる

事は、全く倉橋先生の御指導による賜物なり、今本誌五月號先生の、保姆と園藝趣味なる記事を拜讀して今昔の感を深くす。此在職中の園藝趣味は今尙忘るる事出來ず、引退後は、京都市外嵯峨に茅屋をしつらへ、草花の培養を唯一の樂みとし、其發育もよく、切り花などは、知人に贈りて喜ばれ、此嵯峨の地は冬期寒氣強く病體に適せず、園藝も閑なる時となりて、舊冬上京、本年一月鎌倉なる親戚の廣き邸宅に移る手傳ひを兼ね此暖地に静養かたがた計らずも今日に至る。此鎌倉の地は冬も暖かく、天氣のよき日は、海濱にて幼児の砂遊びを爲し又貝類を拾ひて遊べる様は、他の地方に於ては見られざるものなり。春陽の季節を迎へては、徒らに過す事出來ず、其新邸に新らしき花壇を造り、其砂地に適するいろ／＼の種子を蒔き或は苗を植ゑ球根などを培養するに、其發育よく、美事に開花して、庭の面は實に美しくなりし

かば、之れが趣味をもたざりし主人初め子供等の漸く、園藝趣味を起こし、當今では家族之れに没頭するに至り、新設の花壇とは見えざる程の美觀を呈せり、又盆栽物も數鉢も成育よく、之れと切り花とは常に食卓に裝飾せられて、一同は食事しつつ、園藝上の話をなし、此自然美より互に心情を融和し一家團樂の樂を爲す事となり、實に此自然より受くる偉大なる作用は、幼児の上のみならずして、大人間にも効果ある事を感じ、終に臨みて末筆夫禮ながら、本誌每號に、大岩金先生の園藝に付ての培養上培富なる學理と、其御懇切なる御指導的説明の大に私共の園藝に利益をお與へ下さる處多く謹んで御禮申上感謝の意を表す。

葡萄

新庄よしこ

今朝幼稚園へ來てから保育實習生の一人と幼児